

<白金標準、「木を見て森を見ず」 9197 円に向けた戻り基調・・・>



(出所：オアシス)

AI 関連の企業決算も織り込まれ、世界的な半導体に対する過剰投資の懸念を受け、ナスダックや日経半導体、韓国株など、関連株価は下値模索の値動きを見せており、景気商品で今後半導体需要が期待できる PGM は、株価に比例して乱高下を行っている。特に白金標準先物は、米国とイランのホルムズ海峡の主導権争いの攻撃の応酬を受け、7 月は一時 7714 円まで下値を模索し、8000 円～8500 円で往来相場を続けたことから、8 月に入りイランとオマーンがホルムズ海峡の管理で合意した報道で 8500 円のレンジ上限を上回ったことから、週末には雇用統計を受けた利上げ観測後退で、一時 8982 円まで高値を試している。

特に AI 分野での PGM の需要についてヴァルテラ・プラチナの CEO は「保守的に見て、現在 AI 関連の開発で使われている PGM はおそらく 20 万オンス (6.2 トン) から 30 万オンス (9.3 トン) 程度で、今後 5～8 年でその数は 4 倍か 5 倍に増加すると見込まれます」と答えており、3 年連続の供給不足の商品である白金は、更なる需要拡大から 4 桁の時代から 5 桁の時代へと変化する価格帯であり、現在の様に一時的な要因で投機的なアンダーシュートを行った価格だけに戻り基調も短期間で押し上げられる可能性が高まると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**は上昇している。RCI では**短期**が上昇し、**長期**は上昇している。特に指数平滑移動平均線のレンジを日足が上回り、強気のパターンを見せていることから 9000 円へ向けた動きに思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,175,000 円(2026 年 8 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2026 年 8 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>